

第5次レッドデータブック：
絶滅のおそれのある日本の野生生物

The 5th Red Databook, Threatened wildlife of Japan

サキボソフラスコモ

Nitella mucronata

坂山英俊（神戸大学）

絶滅のおそれのある野生生物の選定・評価検討会 藻類分科会



環境省 編

令和7（2025）年3月



この文献はクリエイティブ・コモンズ 表示-非営利-改変禁止 4.0 国際ライセンスの下に提供されています。

<https://creativecommons.org/licenses/by-nc-nd/4.0/deed.ja>

種毎の解説を引用する場合には以下のように記述してください。

引用表示：坂山英俊. 2025. サキボソフラスコモ. 環境省（編） 第5次レッドデータブック：絶滅のおそれのある日本の野生生物.

Citation: Sakayama, H. 2025. *Nitella mucronata*. In: Ministry of the Environment, Japan (ed.), *The 5th Red Databook: Threatened wildlife of Japan*.

サキボソフラスコモ

Nitella mucronata

カテゴリー判定結果 絶滅危惧 I B 類 (EN) B2ab

基準 A: —	基準 B: EN	基準 C: —	基準 D: —	基準 E: —
---------	----------	---------	---------	---------

B2. 生育地面積が 500 km² 未満であると推定されるほか、次の兆候が見られる。

a) 生育地が過度に分断されているか、5 以下の地点に限定されている。

【地点数】5 地点以下

b) 出現範囲、生育地面積、生育地の質、生育地点数、成熟個体数のいずれかに継続的な減少が推定・予測される。

【判断理由】

本種は 1950 年代までは広く確認されていたが、最近の再調査では数地点でしか確認されておらず、減少傾向にある。

評価分科会： 藻類分科会

概要

本種は最終枝に微突形で鋭く尖った終端細胞を持つことで特徴づけられる。本種は 1950 年代までは広く確認されていたが、最近の再調査では数地点でしか確認されていない。したがって、緊急に本種の保全と管理の対策が望まれる。

協力者： 溝渕綾（一般財団法人広島県環境保健協会）

基礎情報

【形態】

雌雄同株で体長は15～30 cm、結実枝と不結実枝は同形。輪生枝は1～3回分枝。最終枝は2～3細胞性で伸長する。終端細胞は円錐形から微突形で鋭く尖り、直下の細胞に対して幅が狭い。雌雄両器は輪生枝の節部に生じる。卵胞子は暗褐色から黒色で、楕円体、螺旋縁は6～7本。卵胞子膜は網目状。

【生活史】

主に初夏から秋にかけて繁茂する。水深が浅い環境を好む。

【生育環境】

主に水路、沼地、水田に生育する。

生育環境区分： 【陸域_平地部】 田地・畑地, 耕作放棄地, 農業用水路

国土地域区分： (2) 里地里山・田園地域, (4) 河川・湿地地域

【分布域】

アジア、ヨーロッパ、アフリカ、北米、中米、南米に分布。日本では、本州、四国、九州に生育する。

現在の生育状況

【分布域の現況】

詳細については不明だが、現在広島県、愛媛県、大分県において、植物体として生育、あるいは散布体として存在していると考えられる。

【生育地の現況】

管理放棄などにより生育環境が悪化している。

【個体数の現況】

詳細については不明。

存続を脅かす要因

水環境の悪化、人為的な管理の減少、近年の農薬の使用などによって消滅している可能性が高い。

要因の区分：	(過去)	水質汚濁, 農薬汚染/化学物質汚染, 管理放棄
	(現在)	水質汚濁, 農薬汚染/化学物質汚染, 管理放棄

特記事項

特になし

旧レッドリストカテゴリーと掲載名

第4次 2020:	サキボソフラスコモ	<i>Nitella mucronata</i> (A.Braun) Miquel	CR+EN
第4次 2019:	サキボソフラスコモ	<i>Nitella mucronata</i> (A.Braun) Miquel	CR+EN
第4次 2018:	サキボソフラスコモ	<i>Nitella mucronata</i> (A.Braun) Miquel	CR+EN
第4次 2017:	サキボソフラスコモ	<i>Nitella mucronata</i> (A.Braun) Miquel	CR+EN
第4次 2015:	サキボソフラスコモ	<i>Nitella mucronata</i> (A.Braun) Miquel	CR+EN
第4次:	サキボソフラスコモ	<i>Nitella mucronata</i> (A.Braun) Miquel	CR+EN
第3次:	サキボソフラスコモ	<i>Nitella mucronata</i> (A. Braun) Miquel	CR+EN
第2次:	—	—	—
第1次:	—	—	—

都道府県レッドリスト・レッドデータブック掲載状況（令和4年度末時点）

秋田県[準絶滅危惧種 (NT)] 栃木県[絶滅危惧 I 類 (A ランク)] 福井県[要注目] 京都府[要注目種] 広島県[情報不足 (DD)] 愛媛県[情報不足 (DD)] 宮崎県[絶滅危惧 I A 類 (CR-r)]

保護に係る法令指定状況（令和4年度末時点）

指定なし

参考文献

- 今堀宏三, 1954. 日本産輪藻類総説. 金沢大学. 234pp.
- 今堀宏三・加崎英男, 1977. 輪藻類. 広瀬弘幸・山岸高旺 (編), 日本淡水藻類図鑑, pp. 761-829. 内田老鶴園, 東京.
- Wood, R. D., 1965. Monograph of the Characeae. In: R. D. Wood and K. Imahori (eds.), A revision of the Characeae, vol. 1, pp. 1-904. J. Cramer, Weinheim.

アセスメントサマリー (Assessment summary)

Nitella mucronata has been assessed for threatened wildlife of Japan Red List 5th edition. *Nitella mucronata* is listed as EN under criteria B2ab.

B2. Area of occupancy estimated to be less than 500 km², and estimate indicating at least two of a-c:

- Severely fragmented or known to exist at only a single location.
- Continuing decline, observed, inferred or projected, in any of the following:

(i) extent of occurrence (ii) area of occupancy (iii) area, extent and/or quality of habitat (iv) number of locations or subpopulations (v) number of mature individuals	
Habitat types:	【Terrestrial/Freshwater area_Plain】 Farmland, Abandoned farmland, Agricultural ditch
Threat types:	Water pollution, Pesticide/Toxic chemical pollution, Abandonment of management
Law designation status for conservation	—

執筆者:	坂山英俊（神戸大学）
Author:	Hidetoshi Sakayama

公表年月：2025 年 3 月